

# 事前評価書

年度	R5
整理番号	

事業名・路線名等		いっばんけんどう つくみのつせん どうろ かいりよきぎょう ひがしうの こうく 一般県道 津久見野津線 道路改良事業(東神野3工区)	事業主体	大分県
所在地		うすきし おおあぎひがしうの 臼杵市大字東神野		
事業概要	事業の目的	幅員狭小および線形不良の解消により走行性、安全性の向上を図る。		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=600m(一部BP区間あり)、W=4.0(5.0)m 【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V=20km/h 【計画交通量】 120台/日 (R22) 【現況幅員・交通量】 W=最小3.5m 交通量 128台/日(H22センサス) 【重要構造物】 函渠 L=30.0m		
	事業費	C=490百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和12年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 路線測量、道路詳細設計 2年目 地質調査、構造物設計 3年目 用地測量、国有林野利活用関係 4年目 用地補償 5年目 改良工事、舗装工事 6年目 改良工事、舗装工事 7年目 改良工事、舗装工事 完成予定		
事業の必要性	必要性・緊急性	・幅員狭小および線形不良箇所が多く、急峻な谷部であり、車両の通行において危険な状況である。		
	整備効果	・幅員狭小および線形不良の解消により走行性、安全性の向上を図る。 ・東神野地区から臼杵市中心部への利便性向上		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・費用便益比(B/C) : - ・1.5車的整備のためB/Cの算定は困難。		
	工法の妥当性	・ルート比較検討により最適ルートを選定。 ・現道拡幅を基本とした道路改良であり、道路敷きを極力活用した計画としている。		
	コスト縮減	・アスファルト舗装材、碎石路盤材は再生材を使用する。 ・切盛の土量バランスが最も良いルートを選定した。		
	環境等への配慮	・切土および盛土法面には、土質に応じた植生工法およびマルチ吹付け工法を選定する。 ・発生残土は優先して他の公共事業へ流用する。		
事業実施環境	事業の実効性	・令和2年に地元協議を実施しており、当該箇所の早期事業化、早期完成が望まれていることから地元の協働体制は整っている。		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき事業を実施。 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」 「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」において、地域ネットワークの整備として推進が位置づけられている。		
	事業の特殊性	・現道拡幅を基本としており、特殊な工法もなく、技術的難易度は特になし。		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

# 事業箇所位置図

